

Spring-8 Flash

入船教授(愛媛大)、高圧地球研究などでフンボルト賞を受賞

2007年6月14日、愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター長、入船徹男教授がドイツのアレキサンダー・フォン・フンボルト財団よりフンボルト研究賞を授与されました。同賞は、近代地理学の祖とされる著名なドイツ人博物学者・探検家、アレキサンダー・フォン・フンボルトの名が冠せられ、さまざまな分野で国際的に傑出した業績を挙げた研究者に対して贈られる最高の栄誉です。入船教授は地球の内部物性や構成物質に関する研究において、世界に先駆けて高温高圧装置とX線によるその場観察実験を取り入れるなど精力的に努められ、特にSPring-8の高温高圧ビームライン(BL04B1)を利用した研究により、マントル構造や海洋プレート物質の解明に飛躍的な進歩をもたらしました。また、材料開発にも積極的に取り組まれ、高圧装置を使って世界で最も硬い超高硬度ナノダイヤモンド(HIME-DIA)の合成にも成功されています。このような世界第一線級の研究成果が評価され、日本人としてはノーベル賞の小柴昌俊・東大名誉教授らに続き34人目、地球科学の分野では3人目の受賞となりました。授賞式は2008年4月3～6日にドイツで行われる予定です。

金谷教授(京都大)、松下教授(名古屋大)が平成18年度高分子学会賞受賞

大型放射光などを使ってポリマーの結晶化機構や相分離構造を明らかにした金谷利治教授(京大)と松下裕秀教授(名大)が、今年の高分子学会賞を受賞し、5月29日京都国際会議場で表彰式が行われました。金谷教授の研究は、広くポリエチレンなどの結晶性ポリマーが結晶化する過程で結晶核生成以前の誘導期にも非晶構造中で構造形成があることを、SPring-8の構造生物学Ⅱ・小角散乱ビームライン(BL40B2)などで見出したものです。松下教授の研究は、高度なアニオン重合技術をもとにして様々なブロック共重合体を精密合成し、それらが固体でつくるミクロ相分離構造をSPring-8の高フラックスビームライン(BL40XU)などで明らかにしたもので、その断面が整数多面形の集合体となるアルキメデスのタイリングパターンを分子設計により次々と実現しています。いずれの場合も、SPring-8の高輝度X線によりメソ領域での規則構造解析が実現したもので、大型放射光施設をつかうX線小角散乱のソフトマター研究での有効性が顕著となった今回の受賞です。

実施した 行事

- 7月19日 SPring-8ワークショップ「ヘルスケア」(東京)
- 7月20日 SPring-8ワークショップ「放射光による金属組織観察技術の現状」(東京)

今後の 行事予定

- 9月10日～20日 第1回アジアオセアニアフォーラム放射光科学夏の学校ーケイロンスクール2007ー
- 10月19日 SPring-8供用開始10周年記念式典
- 10月29日～30日 第11回SPring-8シンポジウム

施設見学の申し込み方法

見学のお申し込みについては、電話で広報室までお問い合わせ下さい。また、以下ホームページからお申し込みいただけます。

(財)高輝度光科学研究センター 広報室

電話番号:0791-58-2785

ファックス番号:0791-58-2786

URL:http://www.spring8.or.jp/ja/support/contact/site_tour/

編集 SPring-8 News 編集委員会

発行 **財団法人 高輝度光科学研究センター**
Japan Synchrotron Radiation Research Institute
〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都1丁目1番1号
TEL(0791)58-2785 FAX(0791)58-2786 E-mail:kouhou@spring8.or.jp

広報室

ホームページアドレス
<http://www.spring8.or.jp/>